

瀬棚町はこうして生まれた…

維新前

瀬棚に人間が住みついていたのはいつ頃で、また、どんな人たちが住んでいたかは不明であるが、町内各地より出土する遺跡、遺物から推察し、昔、アイヌ民族が使用したものであると言われている。これらの遺跡・遺物は、海岸と川沿いの丘に豊富に埋蔵されている。

この地域は、室町時代から東部沙流地方（日高方面）とともに、西部瀬田内として、タナケシ（またはタナサカシ）、ハシタイン、メナウケなど、歴史的に有名な酋長の根拠地であった。享禄・天文・寛永の乱のころは、蝦夷の争乱もおさまり、平和が保たれるようになった。

文禄二年（一五九三年）正月五日、松前五代藩主慶広が、豊臣秀吉に会い蝦夷頭首の朱印状をもらって領主となり、東・西蝦夷を多くの場所に区割りして家臣の知行地（配下に与える土地）。当時の封建的支配者の主要な財源をなしていたのは、農民から徴収する年貢米であったが、北

海道では米作はもちろんのこと、農業生産はほとんど不可能であったので、ほかの藩に見られない特殊な制度が実施された。和人地・蝦夷地を多くの場所に分割して、その一部を藩の直領地とし、ほかを家臣に知行地として与え、アイヌ民族の人たちとの交易を許した。瀬田内場所となったのはこのときであり、「場所持（知行主）」は松前藩奉行ハギハシ氏であった。瀬田内場所の知行主は、ほかの場所と同じく世襲（子孫が受け継ぐこと）を原則とし、文化四年（一八〇七年）徳川幕府が蝦夷地全域の直轄となるまで、瀬田内の知行主として君臨していた。

アイヌ民族の人たちの居住は、運上屋（松前、奥州、近江などその外商人の出店があり、交易を行う場所）との交易の便宜上、運上屋の付近に集まって集落を構成するようになった。運上屋は当初、ヲモナイ（利別川河口）にあったが、のちに「セタ、ル、シュペナイ」（船瀬近く）に移っている。アイヌ民族も和人と接するようになってから、さまざま

な悪質な病気に感染し、文政五年（一八二二年）一九戸、八六人であったのが、安政元年（一八五四年）には一二戸、五九人となった。

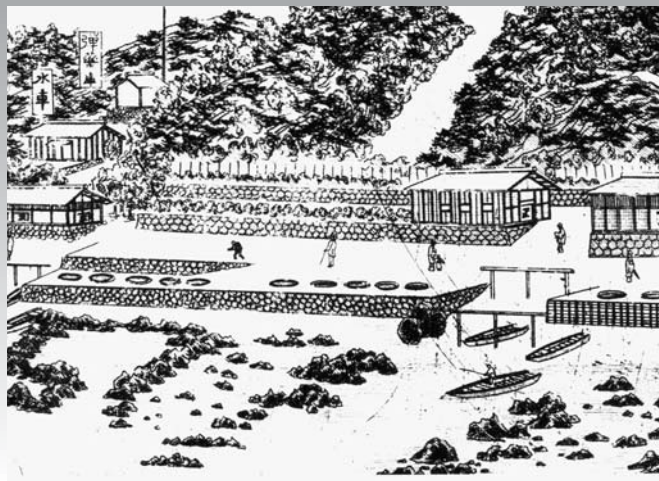
明治維新の頃の瀬棚には、三本杉に六戸の人家、瀬足内に本陣と一五戸のアイヌ民族、ほかは海岸沿いに転々と居住しているに過ぎなかった。

維新後

明治二年、北海道が誕生した当時は、瀬棚郡は（瀬棚、梅花都、中歌、島歌、蛇羅）五カ村となり、兵部省の管轄であった。翌年一月には斗南藩の所有となり、同年八月には開拓使の所管となった。

明治五年二月、開拓使瀬棚出張所が置かれ、明治八年八月、瀬棚勤番所となり、明治九年五月、瀬棚分署と改称され、明治一三年三月、瀬棚外四村戸長役場を置き、函館県在所轄となった。

明治一八年、島牧郡歌原村のう



新町「せたな町」誕生までの経緯

任意協議会	平成15年	
	2月7日	檜山北部4町長会議にて任意合併協議会を2月をめぐりに設置することで 合意
	2月25日	檜山北部4町合併問題協議会設置 （会長：大成町長）
	～8月13日	第1回～第4回合併問題協議会
	8月31日	市町村合併講演会の開催（大成町町民センター）
法定協議会	9月17日 ～12月26日	第5回～第8回合併問題協議会
	平成16年	
	1月22日	第9回合併問題協議会 今金町が離脱 法定協議会設置協議
	2月20日	第10回合併問題協議会
	3月25日	第11回合併問題協議会
	3月8日 ～19日	「檜山北部3町合併協議会設置」に関する3町の議決
	4月1日	「檜山北部3町合併協議会」設置
	4月7日	第1回合併協議会（北檜山町）
	4月23日	第2回合併協議会（瀬棚町）
	5月14日	第3回合併協議会（大成町）
	5月28日	第4回合併協議会（北檜山町）
	6月25日	第5回合併協議会（瀬棚町）
	7月23日	第6回合併協議会（大成町）
	8月27日	第7回合併協議会（北檜山町）
	9月24日	第8回合併協議会（瀬棚町）
	10月8日	第9回合併協議会（北檜山町） 町名が「せたな」に決定
	10月22日	第10回合併協議会（大成町）
	11月10日	第11回合併協議会（瀬棚町）
	12月7日	合併協定調印式（北檜山町）
	12月21日	第4回定例議会で合併に係る関連議案を議決

ち、須築の集落を当町に合併して茂津多岬をもって北側の郡界とした。

明治二四年、郡役所が江差町に移り、明治三〇年、函館県とともに郡役所が廃止され、北海道檜山支庁の管轄となった。同年六月一三日、利別村（現今金町）が分村し、同三五年二月一九日、東瀬棚村（現北檜山町）が分村された。

明治三五年四月一日、二級町村制が施行され瀬棚村となり、大正八年四月一日、一級町村制を施行、同一〇年一月一日より町制を施行し現在に至っている。

合併論議の歴史

昭和29年2月に檜山支庁管内町村合併促進委員会から「太櫓村」、「瀬棚町」、「東瀬棚町」の対等合併を適当とする意見が具申されたことから、合併論議が行われることに。

（昭和の大合併）翌昭和30年2月に「三町村合併連絡協議会」を設置し、議論を進めたが「新町名」と「庁舎の位置」がまとまらず協議は難航。

その後、瀬棚町が町民大会を開催し、合併には基本的に賛成だが、庁舎の位置を瀬棚町にすることが絶対条件となったことで、それを大会の決議文として3月7日に開催された

第3回の連絡協議会へ提出。それにより3町村の合併が困難となり、協議会は解散。後日、太櫓村と東瀬棚町が合併し北檜山町が誕生。

それから数十年後、平成15年より檜山北部4町で、再度合併論議が行われることに。（平成の大合併）平成16年には今金町が離脱し、大成町、瀬棚町、北檜山町の檜山北部3町で議論が進められる。同年4月1日に「合併協議会」を設置。その後さまざまな議論がされ、平成17年9月1日、新町「せたな町」が誕生することになった。（詳しい経過は左をご覧ください。）

写真と年表で見る瀬棚の歴史

■ 維新前



▶ 明治初期の商家

享禄2年 (1529)

享禄5年 (1532)

元文6年 (1741)

文化3年 (1806)

文政5年 (1822)

元保4年 (1833)

弘化2年 (1845)

安政2年 (1855)

■ 明治時代

明治3年 (1870)

明治6年 (1873)

明治10年 (1877)

明治11年 (1878)

明治12年 (1879)

明治13年 (1880)

● セタナイ (今の瀬棚) でアイヌ民族と和人の戦が起きる。

● この頃、アイヌ民族は冬になると奥尻島へオットセイ漁に出稼ぎへ。

● ヤソベシ・チヨタンクロ兄弟が初めてセタナイに定住。

● 兄弟は定住した場所をサントカリと称す。(今の本町1区)

● 松前大島の噴火により津波が起きる。

● 天明より寛政にかけてセタナイ・ウタスツでニシン漁業が発達。

● 幕府の「遠山金四郎」一行が巡視。太田から山道を越えセタナイに滞在。

● この頃、セタナイのアイヌ17戸、86人居住。

● この頃、しなの木より地藏尊が現れる。(文政年間)

● 飢饉の奥羽地方より小舟で到着した2家族が移住。

● 松浦武四郎 (幕府の蝦夷地調査員) がセタナイまでを踏破。

● セタナイ地方は津軽藩の警衛地に決定。

● 斗南藩から会津町へ5家族が移住。(翌年8家族移住)

● 斗南藩士13戸は木材を集め存在川 (ババ川) に存在橋を架橋。

● ロシア軍艦アレウト号が瀬棚海岸で遭難。乗組員は救助され越冬。

● アレウト号の乗組員が帰国の際に浜中で再度遭難し、乗組員全員死亡。

● 梅花都、蘭林寺で寺子屋を開始。

● 平井伝一郎が清酒醸造の営業を開始。

● 久遠・奥尻・太櫓・瀬棚四郡役所を久遠郡一艘瀬村に設置。

● 戸長役場開庁。平井伝一郎が戸長になる。

● 瀬棚学校が今の梅花都に開校。(2年制)

● 瀬棚郵便局が三本杉に開局。



▶ 昔の祭典風景



▶ ニシン漁全盛期に栄えた瀬棚の遊郭



▶ 昔の郵便局

▶ 会津町東部（現在の本町5区付近）



▶ 国鉄瀬棚線工事（鉄橋工事）



■ 大正時代

大正7年（1918）
大正8年（1919）
大正9年（1920）
大正10年（1921）
大正12年（1923）

明治30年（1897）
明治32年（1899）
明治33年（1900）
明治34年（1901）
明治35年（1902）
明治38年（1905）
明治43年（1910）

明治14年（1881）
明治15年（1882）
明治17年（1884）
明治18年（1885）
明治19年（1886）
明治20年（1887）
明治21年（1888）
明治25年（1892）

- 瀬棚に初めて商店が開業。（それまでは行商）
- 山田常七が牧場を創設。
- 徳島県より23戸81人が最内沢に入植
- 徳島県より8戸35人が馬場川に入植
- 大野養蚕場より仕入れた春蚕により養蚕が始まる。
- 瀬棚郡漁業協同組合が設立
- 島歌郵便局が開局。
- この頃、瀬棚村で水稻の試作が成功。
- 馬場川の宮崎常蔵が2粒の裸麦で麦栽培を開始。（その後特産品に）
- 農耕、運搬に馬の使用が始まる。
- 瀬棚私設消防組合を設置（明治30年に公設）
- 函館、江差、久遠、瀬棚、奥尻の定期航路運行を開始。
- 電信線が久遠、太櫓を経由し瀬棚まで整備される。
- この頃、ニシンが豊漁（以後10年間）で須築への移住者が増加。（160戸）
- 日本女医第一号の「荻野吟子」が瀬棚で医院を開業。
- 新保幸吉が虻羅に袋澗を建設。
- 江差銀行瀬棚出張所が三本杉に新設。
- 梅花都、島歌、美谷、須築の各分校が独立。
- 2級町村となり瀬棚村となる。
- 瀬棚く国縫間で定期馬（ダンコマ）が運行開始。
- 瀬棚に初めて劇場が設立。
- 瀬棚く国縫間で乗合馬車が運行開始。
- この頃、世帯数1千103戸、人口7千528人。
- 瀬棚水力発電株式会社が馬場川に30kWの水力発電所を完成させる。
- 瀬棚く国縫間で乗合自動車が運行開始。
- 瀬棚出身の力士「三杉磯」が関脇へ昇進する。
- 町政施行で「瀬棚町」となる。
- 市街地で電話が開通する。

▶ 昔の葬式風景



▶ 会津町西部（本町3区付近）





▶ 映画館



▶ 開基100周年記念パレード



▶ 出征兵士を見送る瀬棚駅前

■ 昭和時代

昭和2年 (1927)
昭和7年 (1932)
昭和12年 (1937)
昭和18年 (1943)
昭和22年 (1947)
昭和25年 (1950)
昭和29年 (1954)

昭和30年 (1955)

昭和32年 (1957)

昭和35年 (1960)

昭和36年 (1961)

昭和38年 (1963)

昭和41年 (1966)

昭和43年 (1968)

昭和48年 (1973)

昭和49年 (1974)

昭和51年 (1976)
昭和52年 (1977)
昭和62年 (1983)

■ 平成時代

平成3年 (1991)

● 初めてホルスタイン乳牛が導入される。(26頭)

● 日本国有鉄道瀬棚線が全線開通する。

● 茂津多岬灯台が完成点灯する。

● 瀬棚森林組合が設立される。

● 新制中学校が開校する。

● 東瀬棚く美谷間でバス運行開始。

● 瀬棚沖でスケソウ延縄漁船遭難6隻沈没。乗組員37人全員死亡。

● 瀬棚小学校新校舎落成

● 町議会が町村合併に賛成であることを知事に答申。

● 太櫓村、瀬棚町、東瀬棚町合併促進協議会設置。

● 太櫓村、瀬棚町、東瀬棚町の合併が町議会で否決。

● 知事より瀬棚町、北檜山町の町村合併を勧告される。

● 町村合併に対する公聴会を開催し、合併に反対する。

● 商工会が創立される。

● 瀬棚町でテレビ共同聴取開始。

● 老人クラブが結成される。

● 市街地簡易水道が給水開始される。

● 瀬棚町の町章と町旗が制定される。

● 第1回漁火まつり、花火大会が開催される。

● 瀬棚出身の力士「大受」が大関へ昇進する。

● 養護老人ホーム三杉荘が開所。

● 瀬棚水族館が開館する。

● 茂津多トンネルが開通する。

● せたな青少年旅行村が開村する。

● 瀬棚く奥尻間フェリーが就航する。

● 国鉄瀬棚線が廃止。代替バス運行。

● ハンフォード市と姉妹都市を結ぶ。



▶ 国道229号茂津多トンネル開通



▶ 昔の瀬棚小学校上空より



▶ 瀬棚線廃止 (さよなら列車)

「さよなら列車」は



平成5年（1993）
平成6年（1994）
平成7年（1995）
平成8年（1996）
平成9年（1997）
平成10年（1998）
平成11年（1999）
平成12年（2000）
平成13年（2001）
平成14年（2002）
平成15年（2003）
平成16年（2004）
平成17年（2005）

- 北海道南西沖地震により大きな被害を受ける。
- 天皇・皇后両陛下被災地視察のため来町。
- 新横滝トンネル開通。
- 商工会青年部がサッポロフアクトリーで、「イカイカダービー」を開催。
- 第5回YOSAKOIソーラン祭りに「瀬棚気合一本!!」が初参加。
- 北部3町で携帯電話サービスが開始。
- 瀬棚町がインターネットにホームページを開設
- やすらぎ館がオープン。
- 国道229号第2白糸トンネル崩落事故が起こる。
- 新橋演舞場で講演の荻野吟子の生涯「命燃えて」観劇ツアーを実施。
- 保健センターがオープン。
- 新年交礼会で地酒「吟子物語」発表会。
- 瀬棚町開基120周年
- 荻野吟子記念瀬棚医療センターがオープン。
- 茂津多林道が完成。
- 初めて大相撲「朝日山部屋」が瀬棚で夏合宿。（郷土後援会を設立）
- 茂津多岬灯台が改修され、日本一高い灯台に。
- 改築していた瀬棚保育所が完成。
- 夕陽が丘パークゴルフ場が完成。
- 教育の森が完成。
- 高速インターネット回線ADSL回線が開通。
- 檜山北部4町合併問題協議会を設置。（その後、今金町が離脱）
- 日本初の洋上風車「風海鳥」が本格稼働。
- 檜山北部3町合併協議会を設置（事務局を北檜山町に設置）
- 生活支援ハウス「かざみどり」がオープン。
- 瀬棚町が有機酪農と有機農業の推進特区に認定される。
- 新町名称が「せたな町」に決定。
- 議会で合併が議決される。
- グリーンパワー瀬棚が大型風車6基の建設を開始。
- 瀬棚町が閉町
- 大成町、瀬棚町、北檜山町が合併し新町「せたな町」が誕生。

